

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました



流水調整課 R1.6.24



紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立楠見東小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所の流水調整課4名が、見学のご案内をいたしました。

またこの日は、和歌山河川国道事務所長が、防災教育に関してスライドや動画を用いて特別講義を行いました。

朝から日差しの強い暑い一日でしたが、紀の川が一望できる“展望デッキ”での見学では、「風が気持ちいい～」とデッキに吹く心地よい風に、暑さが少し和らいだようでした。

✿ 団体見学概要 ✿

日 時： 令和 1年6月24日(月) 11:30～12:45

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数： 48名

団 体 名： 和歌山市立楠見東小学校



1. 紀の川大堰概要説明

最初に、職員が大きなスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

紀の川大堰の4つの役割についてのクイズでは、たくさんの生徒さんが手を挙げ、一生懸命考えて、質問に答えてくれました。



2.魚道の見学・館内の見学・展望デッキ

このカニ
片方だけ
つめ大きい！

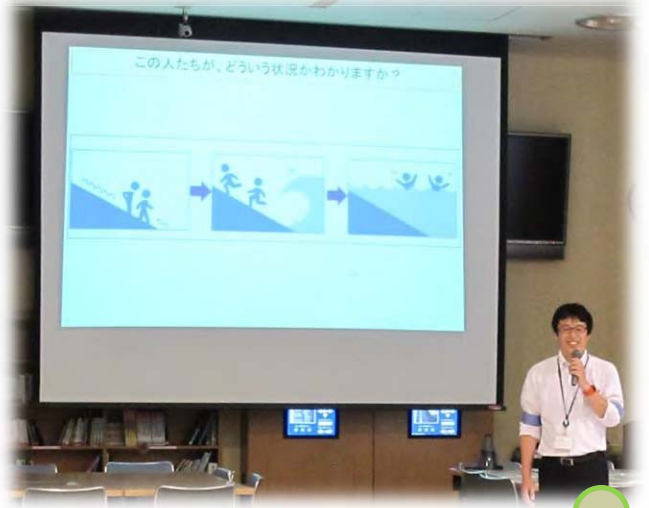


ゲートの上
にある建物は何
ですか？



魚道観察室の出入り口では、「片方のつめが大きいカニしてるで～」と夢中になって、カニをつかまえようとしていました。展望デッキでは、「ゲートの上にある建物は何？」、「なぜゲートは7つ必要なの？」などの質問がありました。

3.防災教育 説明

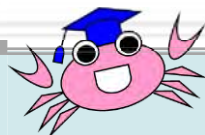


この日は、和歌山河川国道事務所長が、防災教育に関してスライドや動画を用いて特別講義を行いました。生徒のみなさんにイラストを見てもらい、質問しながら“津波や河川の氾濫時に、”災害から命を守るために忘れないでほしい2つの大事なこと“をお伝えしました。

忘れないでほしい2つの大事なこと

- ①津波はとても速いから、海の近くで大きな揺れを感じたら、津波が見える前に高いところに向かって走って逃げよう！
- ②川から溢れた泥水は下が見えなくて歩けないから、大雨が降ったら、川が溢れる前に高いところに向かって逃げよう！

質問



Q. どうしてゲートは、7つ必要なんですか？

A. 7つのゲートのうち、5つは、水をせきとめるための主ゲート、あとの2つは、流す水の量を調節するための流水調節ゲートです。ゲートを分割している理由のひとつとして、主ゲートのひとつの重さは、493トンあり、主ゲートひとつを上にはきあげるのに、44分かかります。もし、そのゲートをひとつにしてしまうと相当な重さになり、持ち上げるのに大変な時間がかかりますし、持ち上げられなくなります。そのためゲートを分割する必要があります。

